

九州南部・奄美地方 2月の気候統計値に関するお知らせ

平成29年3月1日
鹿児島地方气象台

上旬：高気圧と低気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わりました。5日は、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため雷雨となった所がありました。期間の終わりは冬型の気圧配置が強まり、強い寒気が流れ込んだため、九州南部の東シナ海側と奄美地方を中心に雪や雨となり、荒れた天気となりました。

中旬：期間のはじめは冬型の気圧配置となり、九州南部の太平洋側では晴れましたが、九州南部の東シナ海側と奄美地方では寒気の影響で雪や雨の降った所がありました。その後は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、17日と20日は寒冷前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が不安定となり、雷雨となった所がありました。なお、17日は、サハリン付近の低気圧の影響で南よりの風が強まって気温が上昇し、春一番が吹きました。

下旬：九州南部では、低気圧や気圧の谷が通過した日があり、天気は短い周期で変わりました。22日から23日は寒冷前線が南下したため曇りや雨となりました。奄美地方では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

平均気温：名瀬では「低い」となりましたが、その他の地点では「平年並」となりました。

降水量：阿久根では「多い」となりましたが、その他の地点では「平年並」か「少ない」となり、延岡と屋久島では「かなり少ない」となりました。

日照時間：全ての地点で多いとなり、延岡、鹿児島、阿久根、枕崎、屋久島、種子島では「かなり多い」となりました。

2017年2月の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級	
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)
宮崎県	宮崎	8.7 (+0.1)	48.0 (53)	-	5	206.3 (123)	+
	延岡	7.7 (0.0)	22.0 (30)	-*	3	207.7 (120)	+*
	都城	7.0 (-0.4)	50.0 (49)	-	5	185.1 (122)	+
	油津	9.6 (-0.2)	54.0 (42)	-	5	182.0 (122)	+
鹿児島県	鹿児島	9.2 (-0.6)	83.5 (74)		8	175.7 (130)	+*
	阿久根	8.7 (+0.2)	117.0 (121)	+	8	150.4 (125)	+*
	枕崎	9.6 (-0.1)	92.0 (85)		9	165.1 (140)	+*
	屋久島	12.0 (-0.1)	127.0 (44)	-*	10	122.8 (155)	+*
	種子島	12.0 (0.0)	85.0 (75)		8	159.1 (140)	+*
	名瀬	14.7 (-0.5)	105.5 (65)	-	14	80.5 (137)	+
	沖永良部	16.3 (0.0)	72.5 (65)		10	101.3 (122)	+

(注意)・「階級」の欄の符号は、+:高い(多い) :平年並 -:低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+・-」に*を付加した。この場合には +*:かなり高い(多い) -*:かなり低い(少ない)と表現できる。

・値の横に「)」や「]」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが「]」付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2017年2月の順位更新表

・月間日照時間の多い方から

順位	地点名	値(h)	平年値(h)	平年比(%)	これまでの1位(h) (西暦年)	統計開始年
2	枕崎	165.1	117.7	140	170.1 (2002年)	1924年
3	屋久島	122.8	79.1	155	125.8 (1993年)	1938年

(注意)・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。